



チューバ

喜名 雅

きな まさし

沖縄県出身 埼玉県在住

【所属マネジメント】

株式会社アーティフィニティ

住所：〒171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷1-29-13

TEL：03-6780-2299 FAX：03-3971-1838

担当：北山 絵美

E-mail：emi-k@artiffinity.com

やってみたいアクティビティとコンサート

《チューバの秘密大公開!!》

アウトリーチではチューバの音の出る仕組みを超絶わかりやすく説明します。唇の振動を見せたり、バネを使って倍音（音の高低の秘密）を視覚的に再現。ゴムホースを使って振動を手で感じて頂いたりします。チューバとピアノ、どちらが低い音が出るの？高い音は？実際に同じ高さの音を交互に出して対決!!

《夢中になれるモノはありますか?》

アウトリーチでは音楽の話だけでなく、スポーツや読書、勉強、ゲームなど何でも良いから夢中になれるモノを見つけて、とことんその道を極めて欲しい、どうしたらより良くなるのかを常に考えるなどのお話の時間を設けています。また、私のように嫌いだった音楽が徐々に好きになって職業になるケースもあるので、何にでもチャレンジする大切さなども伝えています。

《チューバで2時間のフルコンサート出来るの?》

よく聞かれる良い質問ですね♪結論から言えばネタは沢山有るので出来ます。しかし、一般には知られてないマニアックで低くディープなチューバの世界を押し付け

ても芸がないので、街中で流れている曲などを織り交ぜながらチューバの意外な側面などを伝える工夫をします。コンサートが終わる頃にはすっかりチューバの魅力の虜になること間違いなし♪

【プログラム例】

謳うチューバ

ロッシェニ：歌劇「セビリアの理髪師」より“私は町の何でも屋”

本間 雅智：ゴムホース・ポルカ

J.S.バッハ：フルート ソナタ 変ホ長調 BWV1031より第一楽章

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」より“夕星の歌”

アンジェラ・アキ：手紙～拝啓 十五の君へ～

ワイルダー：エフィー組曲（友人に描いて貰った6枚の絵付き）

プログ：三つの小品

ペンデレツキ：カプリッチョ（チューバ独奏）

R.V.ウィリアムズ：チューバ協奏曲

アンコール 喜納昌吉：花～すべての人の心に花を～

自己PR

好きな言葉は「諸行無常」と「一期一会」。

私は嫌いだったはずの音楽を職業にしている自分自身の事が一番分かりません。身のまわりの環境や人との出会いで常に色々なことが変化をしていて、その変化を楽しみながら生きているのかも知りません。今の私を形作ったこれまでに会った沢山の方々に感謝しつつ、今の私に出来る事は何か？人の為にチカラになれる事は何か？を考えたりしています。

音活でも沢山のご縁に恵まれ、日本各地を訪問させて頂きました。これから出会う新たなご縁にも全力で向き合いたいと考えていますので、一緒に楽しい事を企画実行しましょう♪お気軽に声を掛けて頂けると幸いです☆

PROFILE

1980年12月22日沖縄出身。山羊座A型。

1993年沖縄県与那原町立与那原東小学校卒業

1996年沖縄県与那原町立与那原中学校卒業

1999年沖縄県立知念高等学校卒業

2005年東京藝術大学音楽学部器楽科卒業

小3でトランペットを始め、翌年チューバに転向。合奏全体を支えるチューバ本来の面白さに目覚める。中学でフィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルのチューバ奏者ジョン・フレッチャーに憧れてプロになると決意。高校入学と同時に上江洲安彦に師事。本格的なチューバの奏法、サウンドを学ぶ。高3から稲川榮一に師事。音楽の素晴らしさ、組み立て方などを学ぶ。高校卒業後すぐに単身上京して2年間の浪人生活の中で、家族の大切さ、周囲の人達のサポートの有り難さを感じながら人生のどん底生活を体験。不屈の精神を養い晴れて東京藝術大学に入学。

人生の遅れを取り戻そうと必死に練習、徐々に成果が現れ2004年5月ドイツ・マルクノイキルヒェン国際コンクールにてディプロマ受賞。同年7月松尾葉子指揮、藝大フィルとボザ作曲チューバとオーケストラの為の小協奏曲を共演。2005年第75回読売新人演奏会に出演。日本管打楽器コンクールにて2004年、2007年に第5位、2010年に第2位受賞。

2007年第12回コンセル・マロニエ21（栃木県）第3位受賞。2013年、音楽之友社刊「バンドジャーナル」ワンポイントレッスンを1年間執筆担当。

（一財）地域創造「公共ホール音楽活性化事業」2016・17年度登録アーティスト。

メランジェ合奏団、シアターオーケストラ Tokyo（熊川哲也率いるKバレ工専属オケ）他各メンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。